

# 令和2年度事業報告

松阪市シルバー人材センターは、高齢者が健康で、意欲を持ち、その蓄積した経験や技術を活かして地域社会の支え手となることにより、地域から信頼され魅力あるセンターをめざして事業を進めてきました。

また、シルバー人材センターの理念である「自主・自立・共働・共助」の理念を基に、第3次中期計画や令和2年度事業計画に基づき理事会、各委員会に諮りながら事業を推進しました。

令和2年度の取り組みを ◆安全就業・適正就業の推進 ◆組織体制の確立と財政運営 ◆会員拡大と就業開拓の推進 ◆普及啓発・補助事業の推進 ◆福祉家事援助サービス事業推進の視点から整理すると次のとおりとなります。

## 1. 安全・適正就業の推進について

会員の安全就業については「安全はすべてに優先する」を基本に、安全パトロールは各班長委員によるクロスチェック（相互確認）方式を取り入れ1回/月実施の定着に努めました。また、就業中に転倒した時は、「コツンでも病院へ」を事あるごとに呼びかけました。

本年度も無事故無災害を目標にしてきましたが、傷害事故については19件（うち重篤事故1件）となり昨年度を3件上回りました。また、損害賠償事故については、8件で昨年度を1件下回りました。刈払い機の飛び石による車輻ガラス破損事故はいまだ後を絶ちません。事故の再発防止にむけ対策改善シートを作成し横展開を図るとともに情報共有に努めてきました。

安全就業推進大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2会場に分散し規模を縮小、「高齢者の交通事故防止」「健康な体、そして安全な就業」について講演と実技を実施し92名の参加をいただきました。

従来とは趣をかえ実技を取り入れたことで参加者の皆さんには好評でした。

適正就業の面では、「適正就業推進基準に関する要綱」に基づき、適正就業推進委員会において学習会を実施するとともに、対象者のヒアリングを通じ交代措置を図ってきました。また全国シルバー人材センター事業協会から「適正就業ガイドライン」が示されたことを受け、受注リストに基づき点検し請負契約から派遣契約への切り替えを進めてまいりました。

## 2. 組織体制の確立と財政運営

請負契約金額は4億45百万円（対前年マイナス25百万円）で、その内公共事業は33.6%、民間企業は52.7%、一般家庭は13.7%となっています。配分金は3億83百万円（対前年マイナス27百万円）でした。

また、シルバー派遣事業の契約高は、次ページのとおり7,021万円（対前年マイナス216万円）となりました。

契約金額の減少要因は新型コロナウイルスをはじめとし多岐に亘っており、現実を真摯に受け止めるとともに財政基盤の脆弱な体質が浮き彫りとなったことも事実です。

令和3年度は健全な財政運営に向けた取り組みを積極的に推進します。

令和2年度月別派遣事業実績表

	派遣事業所数	就業実人員	就業延日人員	契約額 (円)
4月	21	64	1,197	5,505,738
5月	22	74	1,162	5,404,197
6月	22	82	1,233	5,791,348
7月	23	83	1,276	5,936,543
8月	24	77	1,247	5,737,153
9月	25	84	1,275	5,972,446
10月	21	80	1,248	5,710,290
11月	20	87	1,219	5,510,995
12月	25	91	1,464	7,145,145
1月	25	87	1,275	5,840,768
2月	24	91	1,183	5,333,529
3月	27	94	1,379	6,322,050
合計	—	—	15,158	70,210,202

### 3. 会員拡大の取り組み

会員入会促進については、新型コロナウイルス感染症防止の緊急事態宣言発出により4月、5月の入会説明会は中止、以降の入会説明会についても事前予約制により午前、午後の2部制で実施、状況に応じて個別対応も行いました。

年度末会員数は、988名で昨年度末より38名の減少となりました。会員の高齢化は進み平均年齢が73歳となっています。60歳代の会員は全体の24%、75歳以上の会員は33%で60歳代会員数については昨年比マイナス15%の状況です。

また会員紹介活動も定着しつつあり、紹介による入会者は前年比30%増となっており直近3ヶ月の新規入会者の平均年齢は67歳で昨年と比較すると4歳若返っております。

令和2年度入会説明会参加者の特徴は、60歳代の参加が顕著であり、コロナ禍による雇用契約の打ち切りやハローワーク等による職業紹介の減少などが背景にあります。

会員募集にあたっては募集パンフレットを市役所、ハローワーク等の公共施設に常置するとともに広報まつさか、夕刊三重等の媒体を活用し告知を継続しております。

### 4. 就業開拓の推進

会員、入会希望者のキャリアは多様化しており新規就業先の開拓が急務であるとの認識に立ち令和2年度重点活動として取り組みました。実行計画を「見える化」し、商工会議所、松阪市と連携のもと事業所へのアプローチを推進しました。訪問事業所数は15事業所、新規成約は8件となりました。ホワイトカラー系職種の新規就業も徐々に実ってきており次年度も重点取り組みとして推進していきます。

広報活動においては、インターネット、SNSの普及拡大を受け従来の紙媒体からホームページでの広報・告知を充実するとともに、会員へのショートメッセージサービスも開始しました。

## 5. 普及啓発活動・補助事業の推進について

新型コロナウイルス感染症拡大により従来型の大規模なボランティア活動は出来ず、規模を縮小するとともに会場についても分散し活動を展開しました。

令和2年度のボランティア活動は下記のとおりです。

月 日	実 施 場 所	活 動 内 容	参加者数
11月12日	宮前小学校	美化活動	8名
11月17日	第三小学校	美化活動・剪定	4名
11月24日	香肌小学校	美化活動	5名
12月25日	第三小学校	樹木伐採	3名
10月1日 ～3月31日	特別養護老人ホーム さくらの郷	絵手紙の作成と展示	11名
10月1日 ～3月31日	特別養護老人ホーム さくらの郷	写真の展示	10名
10月1日 ～3月31日	シルバー会議室他	屋外作業会員への防暑タレの製作	20名

定期的な入会説明会の開催（12回/年）については、新型コロナウイルス感染症の影響で4月、5月の入会説明会は中止としましたが、6月以降、月次、臨時を含め12回の実施となりました。

	説明会参加者	入会者	退会者	年度末会員
平成28年度	247人	147人	139人	1,025人
平成29年度	226人	150人	183人	992人
平成30年度	275人	149人	130人	1,011人
令和1年度	206人	159人	144人	1,026人
令和2年度	187人	134人	172人	988人

講習会等については、三シ連合会と連携し、高齢者活躍人材確保育成事業として「シルバーで草刈り体験会」を広陽2号公園において開催し8名の参加をいただきました。

## 6. 福祉・家事援助サービスの推進について

お元気応援ポイント事業に代表される地域支援事業にも多くの会員が就業しました。

また、個人や高齢者家庭からの家事福祉援助サービスの注文も順調に増加しています。

これらのニーズは今後も続くと思われ、事業成長のために講習会や研修会にも三重県シルバー人材センター連合会と連携しながら積極的に参加していきます。